

## 第5回ディスカッション

### テーマ2 企業におけるリストラの是非

B案：リストラは企業にとってデメリットが大きいため反対

#### ・前提

テーマ発表の文章に東芝、オムロン、住友化学、資生堂が例示されているため、大企業を前提として記述する。日本の大企業におけるリストラでは、退職希望者の募集をすることが多い。

#### ・デメリット①：従業員の士気の低下

一般的に、リストラは会社の業績不振や不採算事業からの撤退を要因として行われる。そのため自社がリストラを行うと知った従業員は、自社の業績低迷に伴ってボーナス、将来の昇給への期待が低下するため、士気が下がる。

#### ・デメリット②：採用力の低下

前述の士気低下の影響はそのときに在籍する従業員だけにとどまらない。ボーナス、将来の昇給への期待が低下している会社は、求職者にとっても魅力が低い。また、今後仮に業績が回復したとしても、再度業績不振に陥った際に再びリストラをする可能性がある。このように、リストラは求職者に雇用が安定していない印象を与える恐れがある。そして、採用力が低下すると優秀な人材の獲得は難しくなり、企業成長に悪影響を与える。

#### ・デメリット③：優秀な人材の流出

前提で述べた通りに、希望退職者の募集を通してリストラを行う場合、かえって優秀な人材が流出する恐れがある。希望退職に応募した後には転職をする必要があるが、優秀でない従業員は転職活動が上手くいかない可能性が高い。よって、会社が辞めさせたいいわゆる窓際社員ほど、会社にしがみつくとメリットが大きい。一方、優秀な人材は転職活動も上手くいく可能性が高い。よって、より将来性のある企業への転職や割増退職金を目的として、優秀な人材が流出する恐れがある。

(参考)

・「リストラとは？代表的なやり方やリストラされた場合の対処法を解説」、CANVAS

Powered by マイナビエージェント

(<https://mynavi-agent.jp/dainishinsotsu/canvas/2024/01/post-1190.html#title3>)